



社団法人 茨城県放射線技師会

INFORMATION

〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内 発行責任者：横田 浩 編集：小原 孝夫
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

《平成24年7月理事会議事録》

開催日時：H24年7月11日（水）18：00～

場 所：茨城県放射線技師会事務所

出 席：横田浩，長谷川光昭，鈴木達也，
小原孝夫，會澤敏広，川又誠，坂井朋夫，
川村拓，仲田智彦，田中信一，山下ひろみ，
水木一弘，野澤哲也，波多野浩嗣，
広瀬和夫，村木一夫

オブザーバー 梶山裕晃

委任者： 館野 誠，

議 長：横田 浩，書 記：鈴木 達也

出席理事16名（会議開始時点13名）委任1
名で理事会開催規定を満たすことが宣言さ
れ、議事に入った。

【議事】

【1】会長報告（事前メールにて資料配布）

- ・日放技の「創立65周年並びに公益社団法人移行記念式典」が6月1日に開催され、厚生労働大臣表彰に中澤前会長を推薦し、受賞された。
- ・第72回日放技定期総会が6月2日に開催された。
- ・放射線技師の業務拡大について、厚労省との意見交換会を2回行っているが、技師法の改正と併せて今後も折衝していく。
- ・診療放射線業務の正しい評価を診療報酬点数に盛り込みたいと交渉している。
- ・国家試験の試験委員長を放射線技師にしたいとの要望を提出している。
- ・検査関連行為を業務範囲に追加するために全国統一の臨床研修を実施する。
- ・管理者養成プログラムを実施し、経営に参画できる放射線技師や医療の質改善に指導的立場で活躍する放射線技師を育成したい。
- ・役員改選があり、ネットワークナウ7月1日号（No. 439）に掲載されている新執行部が承認された。
- ・日放技より、11月3日に横浜で開催するレントゲン週間イベントを共催して欲しいとの連絡あり。日放技で行っていたものを、各県に協力してもらって全国展開するとの趣旨。茨城では10月にピンクリボンと共催で放射線展を開催するので、今回は辞退す

ると回答。展示用のポスターは入手。

- ・会員数については、全国では相変わらず減少傾向であるが、茨城は平成21年度が656名で最低、22年度が660名、23年度が676名と多少の上昇傾向。平成17年度が最高で740名であったので、これを目標として増やしたい。
- ・静脈注射講習会は、11月11日を第一希望、11月18日を第二希望として申し込んでいる。県立医療大の講義室を仮予約中。事前講習は川又理事が受講しており、今回の運営担当者になって頂き日放技との連絡をお願いする。
- ・H21年度より実施してきた「基礎講習・X線CT検査」は、CT専門技師認定機構と共催で地域開催する事になったが、8月に茨城開催を希望していたが、今回は認定機構との共催は無理との事なので開催しない事とした。
- ・「基礎講習・MR検査」は、平成25年1月に開催する。平井理事と川又理事で本部との調整、医療大・川村理事との連絡をお願いする。
- ・第28回日放技学術大会が、9月28日～30日まで名古屋国際会議場で開催される。事前登録券は事務所にある。大会ホームページからも登録できるが、各県の割当てがあるので茨城県の事務所から購入してほしい。
- ・平成24年度関東甲信越学術大会が、10月6日・7日に栃木県総合文化センターで開催される。再来年は茨城での開催になる。皆様の参加をお願いする。事前登録は9月26日まで大会ホームページで受け付け。
- ・敬老の日の慰問について出し物を募集したい。楽器演奏、踊り、手品、その他何でも隠し芸がある方を募集。
- 【2】学術より（鈴木副会長）
- ・H24、25年度の委員について、各委員会からの名簿が出揃ったので、承認をいただきたい。これをもとに委嘱状を発行する。
- ・今年度より学術部に「乳腺委員会」を入れたい。（承認）これに合わせた内規の変更を行う。
- ・委員の数について、「原則10人以内とする」

との記載を行い、必要に応じて理事会で承認することとする。

- 【3】県立医療大との懇談会・読影に関する講習会について (村木理事)
- ・懇談会を7/18(水)の県立医療大学実習病院連絡会議の後に開催する。
 - ・読影に関する講習会を10/13(土)16:00から17:15で開催する。
内容は阿武先生に一任する(希望があれば伝える)。今年度は2回開催予定とする。
- 【4】老人ホーム慰問・ソフトボール (波多野理事)
- ・老人ホーム慰問は、骨密度測定を行う。機器の借用はOK。
 - ・ソフトボールを10/8(月)に開催。蕎麦を実施
- 【5】公益法人について (小原常務理事)
- ・申請書を書き直している最中。数日で再申請を行う。秋口の認可を目指している。これまで高山さんが窓口であったが、小原理事に変更する。
- 【6】インフォメーションについて (小原理事)
- ・8/1, 11/1, 2/1, 5/1に発行予定。2/1は、新年号として1月発行になる可能性あり。
 - ・各回10日前が締切り。間に合うように原稿・案内を出してほしい。
- 【7】ピンクリボンについて (坂井理事)
- ・10/13(土)にイーアスつくばの3Fで開催。午前中にウォーク。午後放射線展を開催する。
- 【8】メーリングリストについて
- ・研究会開催等の連絡についてメーリングリスト配信を行っているが、登録者が少ない。イベント参加者を増やすためにも次回インフォメーションを配布する際、登録を勧誘するお知らせ(作成仲田理事)を同封する。

次回開催：別途連絡

《 お 知 ら せ 》

1. 『放射線検査のための手話講習会』

開催のご案内

今年度も下記日程で『放射線検査のための手話講習会』を開催いたします。

この講習会は、聴覚障害者に安心して検査を受けていただき、よりよい検査を実施するためにっております。聴覚障害者とのコミュ

ニケーション方法を中心に、臨床現場を再現するなど業務に直結した内容です。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

日時：平成24年8月26日(日)10時～12時

場所：茨城県総合福祉会館

会費：無料

講習内容：

1. 病院における聴覚障害(コミュニケーション障害)への対応
2. 簡単な手話

講師：茨城県聴覚障害者協会講師

問合せ：おおたしろクリニック 中野 恵

TEL：0294-22-8800

《 行 事 報 告 》

1. 第86回超音波研究会報告

第87回超音波研究会報告

5月15日筑波学園病院において第86回超音波研究会“症例から学ぶ”をテーマに症例検討会を開催しました。(参加者26名)また、第87回超音波研究会を6月28日水戸済生会総合病院で開催しました。(参加者16名)両研究会は同一内容のため、纏めて掲載致します。

- ・東京医科大学茨城医療センターの松下真嘉さんが“甲状腺腫瘍の1例”FAP(家族性大腸ポリポーシス)に合併する甲状腺癌についての発表。FAP患者には高頻度で合併、通常の乳頭癌とは全く異なる病理組織像を呈する。また、超音波像は腺腫様甲状腺腫や濾胞腺腫と間違われやすく、穿刺吸引細胞診では診断がつかない事があり超音波検査で癌の可能性について言及することも肝要との報告でした。

- ・筑波記念病院の角田好江さんが“乳癌との鑑別が困難だった乳腺線維症の1例”につい



て発表. 乳腺線維症は内部が正常乳腺様の豹紋状にみられることと, 腫瘍周囲の高エコー像が硬癌等で描出される真のハローと比較し非常に淡いといった特徴を念頭に置き注意深く検査することが重要とのこと.

・立川記念病院の木曾丈晴さんが“下大静脈からわかること慢性例から”というテーマで下大静脈拡張から肺高血圧症の重症度を評価する方法について発表. 三尖弁逆流を計測するといった普段は行うことのない心臓の走査に少し戸惑いましたが, 肺高血圧症の病態と算出手順を解り易く解説して非常に興味深い発表でした.

・総合病院土浦協同病院の藤咲賢さんが“胆嚢壁肥厚所見の鑑別”と題し発表. 胆嚢炎と急性肝炎を比較し, 胆嚢壁の病理組織像を提示もあり解り易い発表で, 所見の違いについて改めて勉強になりました.

今回の症例報告は県南地区と県央地区対象に同一内容で開催しました. 活発な質問や意見交換が多くなされ有意義な会となりました.
<文責 津谷・三村>

2. 平成 24 年度 MR 研究会報告

6月30日(土)茨城県立こころの医療センターにおいてMR研究会を開催しました.
内容:参加者は7名で,当初から少人数で,出来るだけ皆が機器に触れられるようにとの事で,丁度良い人数と思われた.白庭放射線技師により,病院と装置の説明をして頂いた.患者さんの検査時には最低一名の看護師が付きそい検査を行う.男女比も男性スタッフが7割以上とのことだった.一日のMRI検査数は1~3名程度で撮影部位はほぼ頭部のみ.参加者全員で,検査室内,機械室,操作パネル,ワ



ークステーションの説明を受けた.引き続き,参加者の頭部撮影を行い,3T特有のクロストークに関する問題や,SARの上昇による撮影枚数の制限,磁場強度の不均一などに対応した撮影方法のディスカッションを行った.

県内各施設のMRI検査の熟練者のディスカッションにより有意義な勉強会であり.今後も引き続き,このような見学会を行う必要性を強く感じた.(筆者 本元)

3. 平成 24 年度第 1 回 CT 研究会開催報告

H24年6月28日水戸プラザホテルにおいて,CT研究会を開催しました.参加人数:84名
内容:日本医科大学放射線医学准教授 林宏光先生に「腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドラインとその実践的活用」について講演いただきました.腎機能が低下している患者にヨード造影剤を使用する場合には造影剤腎症発症のリスクがあり,いかに発症を回避するかの指針が求められていました.最近「腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン」が作成され,今回ガイドラインを分かりやすく解説していただき,私たち放射線技師は造影検査に携わる者としてこのガイドラインを十分理解した上で有効に活用し,安全で正確な診断が行える画像を提供していかなければならないと改めて思いました.参加人数84名 (報告者鈴木)



4. H24 年度フレッシューズセミナー 開催報告

昨年より日本放射線技師会と共催しております「フレッシューズセミナー」を,7月8日(日)に茨城県立医療大学で開催しました.全国统一内容である医療人として必要なエチケット・マナー,医療安全学,医療感染学,

気管支解剖学に加え、日本放射線技師会の活動内容と茨城県放射線技師会の組織に関して説明し、技師会への入会促進を行いました。会員・非会員をあわせ19名の新人の参加がありましたが、医療人としてだけでなく社会人としても大事な一般常識を学べて良かった。放射線業務を行うに当たって基本的な事を理解できた。日本放射線技師会や認定資格制度について良く知らなかったので参加して良かった等々の感想があり、満足頂ける内容であった事が伺えました。また、基本的で重要な内容なので、もう少し早い時期に開催して欲しかったとの意見もありましたので、来年は5月中旬の開催を目指して日放技と共催できればと考えております。



5. 第4回乳腺研究会報告

H24年7月14日(土)県立医療大学において第4回乳腺研究会を開催しました。今回は『乳がん診断の基礎』をメインテーマに置き、マンモグラフィ、超音波、病理のそれぞれについて講演いただきました。

内容：

講演 1. マンモグラフィの基礎

- ・「知っておきたいマンモグラフィの基礎知識」 筑波大学附属病院 宮田真理子
- ・「線質・線量」 筑波メディカルセンタ瀬尾芳子

講演 2. 超音波の基礎

- ・「マンモグラフィ撮影者のための超音波基礎講座」 筑波メディカルセンタ 木村香緒里

特別講演 病理の基礎

- ・「診療放射線技師のための乳腺病理の基礎の基礎」 日本医科大学武蔵小杉病院 永井祥子先生



《 会 員 動 向 》

平成24年7月25日現在の会員数…672名

入 会：

佐藤 竜太	白十字総合病院
内田 貴大	筑波大学附属病院
羽鳥 美奈	水戸済生会総合病院
根元 寛信	JAとりで総合医療センター
小林 大輔	筑波大学附属病院
長谷川 圭老	土浦協同病院

再入会：

岡田 美紀	神立病院
大越 信行	茨城県立こども病院
芳賀 良太	白十字総合病院
鴻巣 猛	茨城西南医療センター

転 入：

小松澤 信雄	みなクリニック内科循環器科
--------	---------------

《 編 集 後 記 》

名称も公益社団法人茨城県診療放射線技師会になるべく着々と準備中ではありますが、移行後はこのINFORMATIONも年4回と、今までより間隔が長くなります。開催案内等の切り替えが早くなりますので早め早めにお知らせ頂きますよう、編集の運営にご協力をお願いいたします。尚、学会・研究会・その他行事など開催案内等は、ホームページをまめに閲覧していただき又、メーリングリスト (らくらく連絡網15107823@ra9.jp) に空メール送信) に登録して、ご確認の程よろしくお願いたします。

編集後記も編集委員の持ち回りで書くことになりそうで、作文が苦手な私には、とても困惑しておりますが今後ともよろしくお願いたします。(水木)